

### 第3回東浦町総合計画審議会【第2部会】 会議録

会 議 名	第3回東浦町総合計画審議会 【第2部会】	
開 催 日 時	平成30年6月29日（水）第3回審議会【全体会】終了後	
開 催 場 所	勤労福祉会館 会議室2	
出 席 者	委員	アドバイザー 千頭 聡、水尾 衣里 部会長 久米 賢治 委員 加藤 龍雄、神谷 英一、小山 真弓、杉浦 義治、田島 由美子、都筑 一男、外山 淳恵、二宮 立美、戸張 里 美、米島 竜雄
	事務局	教育長、総務部長、健康福祉部長、教育部長、会計管理者、 建設部次長、企画政策課長、企画政策課課長補佐兼企画政 策係長、企画政策課主事、第6次東浦町総合計画策定支援 業務受託業者
議 題 (公開又は非公開の 別)	1 議事 第4章 基本計画（部門別計画）について 2 その他	
非公開の理由 (会議を非公開と した場合)	—	
傍聴者の数	3名	

審議内容 (概要)	議題の審議内容は、別紙のとおり
備考	

【議事要約】

開会

事務局	(開会、資料の確認)
-----	------------

1. 議事

第4章 基本計画（部門別計画）について

部会長	環境問題で日本は後れを取っている。環境問題に頑張って取組むという宣言をするというのも良いと思う。
委員	民生委員をやっていて、気になっていることがある。 1点目は、障がい者が避難する場合の福祉避難所の場所が、勤労福祉会館になっている。ここは海拔が低いので水に浸かる可能性があるが、避難できるかの検証をされていないように思う。今後、避難所の場所をどこにするのかの検討を行って欲しい。 2点目は、勤労福祉会館を福祉避難所にするのなら、寝る場所等をどう作るのか、資材として何を揃えないといけないのか整理して欲しい。 3点目は、町内には福祉施設が4つか5つあり、災害時には何名受け入れられるか町と協定を結んでいるが、福祉課や協働推進、防災交通課と話し合いをしている雰囲気がない。これらのことは、お金をかけなくてもできるので、こういうことが起こったらあちらに行きなさいというルールを検討することを入れて頂きたい。
事務局	防災対策で、福祉面で何をやって欲しいということは認識しており、福祉課と防災交通課で話し合いを進めている。こうした行動を見えるようにしていきたい。福祉課と施設は棲み分けの部分があるので、防災交通課と話しあっていく必要がある。こうしたことについても全体の構想の中で入れていけたらと思うが、実作業としては動きつつある。
委員	分かっているところあれば、誰が何をするのか担当者を決められたらと思う。これをしないと、障がい者が後回しになってしまう。今、出来ていること、出来ていないことを整理し情報提供して頂けると分かり易い。
事務局	おっしゃる通りで、基本計画で細かく記載はないが、福祉課と防災交通課と話し合いをしているので、振り分けはこれから出て来る。
事務局	細かいものはないが、取組みの3番目に簡単だが記載されている。

委員	<p>コミュニティの会長をやっている立場で、防災について発言させて頂きたい。委員は関係機関の連携をおっしゃっていたが、自主防災会や赤十字、防災リーダーが一生懸命にやっているのが広がっていかずに、人が固定化している。また、こういう人がまちづくりのリーダーなどをやっているのを痛感している。防災訓練では、避難するのに手ぶらで来た方もいた。また、毛布も一度開けると処分対象になるのに開封したりするなど、自覚が無いのが気になる。一方で、中学生、小学生高学年でも防災のこと学べる。中学生は体格がいいので、高齢者よりも戦力になるのではと思う。</p> <p>成人式の時に消防団の訓練を同じ日にやるので、消防団の姿を見せて、一緒にやろうと働きかけをしていくことが重要だと思う。西部中学校に赴任した時に、チェーンソーの避難訓練をしていて、中学生もあれだけのことをできるのだと思った。人任せで、行政がやってくれるという考えが定着している。様々なコミュニティの活動でも、誰かがやってくれるという意識が蔓延している。昔はコミュニティに入らないと村八分だったが、今は地域がバラバラなので、若い人たちに活動を進めるような施策ができるといいなと思っている。</p>
部会長	学校では防災の訓練はやっているのか。
事務局	学校の防災訓練は、学校のみを取組として行っている。地域の方に学校に来て頂く機会も増えているので、地域の方と一緒にやれたらと思う。
部会長	体制がなければ。
委員	地域の人が面倒をみる必要があると思う。
委員	<p>森岡の自主防災会には女性が一人も入っていない。会議もなく、機能していない。お子さんもそうだが、お母さんに入って頂いて、どういいう避難所にしたらいいか、自分が避難すべき避難所で経験をして欲しい。ひがしうら女性の会では、アンケートを取らせて頂いた。その結果、女性の消防団員がいない、男性でも高齢化している実態が分かった。お母さんでも、やってみたいという方がいれば、入って行って欲しいと思っている。知多半島5市5町では、市では女性団員がいるが、町ではない。東浦が率先してやっていければと思う。</p>
事務局	<p>女性消防団員の導入の必要性については、現場も認識している。基本計画 P61 の「機能別消防団員の導入について検討します」という記述に含めている。細かく記述するかは検討する。</p> <p>担い手不足については、コミュニティをはじめとした様々な施策で感じている。それぞれの所、地域の課題の所で、個々の施策で言って</p>

	<p>いないところあるが、特色ある学校づくり、スポット的に参加は入れているが、29 頁の取組み 4 などで地域の実情を踏まえた取組みと記載している。ただし、細かなところは記載していない、どこまで細かく記載するかは今後検討していかないといけない。</p>
委員	<p>総花的になるが学校教育は大事だと思う。総合計画の基本構想の冒頭でも「住み続ける、選ばれる、社会環境の変化に対応、自分ごととして捉えられる」などのキャッチフレーズがあり、それぞれのフレーズはいいが、具体的なアプローチを書き込んでほしい。</p> <p>東浦は、学校教育が手厚いことが記載できればと思う。体験活動など、東浦町ならではの教育プランが記載できると良いと思う。人を作っていくことに力を入れていくということで、総合計画の基本構想に入れていくのがいいのではないかな。</p>
部会長	<p>抽象的になってしまうので、カッコいいタイトルがあれば良いと思う。例えば、東浦は徳川家康のお母さんの生まれたところであり、リニアができれば、品川まで 1 時間で行ける場所である。通勤も埼玉より楽で、自由が丘より安く買える、これらを上手く使って謳い文句があれば良いと思う。</p>
委員	<p>住みたくなるまちとして長久手市があるが、教育方針が面白く、よく話に出ている。長久手市では、体験的なことを積極的にやっている。事故は怖いけど、長久手では子ども達のコミュニティでルールをつくり、自発的な子どもを育てる教育をしている。</p> <p>小中学校は自治体が関与できるので、特色は出せると思う。東浦のユニークな取組を考えてやっていったらどうかと思う。</p>
委員	<p>現在の小中学生は授業数も多く、何かを犠牲にしないと、何かを出来ないようになってきている。1 年生でも授業が多くがんじがらめで、評価、学力テストもある。ゆとりある教育を望みたい。私立の学校であれば自由がきく部分があるが、公立では難しい。</p>
委員	<p>日本語が出来ないと英語は意味がない。テクニックばかりつけても意味がないと思う。</p>
委員	<p>生まれてから学校にあがる 5 歳までは、人間形成においてとても重要だと思う。しかし、保育園の幼児教育には特色がない。保育園にいる間、勉強に通じるものはもちろん、自然を活かした、生きる力や忍耐を学び、体を使う幼児教育を特色づけてやっていくことが出来ると良いのではないかな。</p>
委員	<p>子育て支援で変わったことはないかな。以前には日本一をうたっていたが。</p>

事務局	<p>今は有料化になったが、3人目の保育の無料化は東浦だけがやっていた。ただし、有料化により児童全般に施策を広げ、母子家庭の支援などの施策に範囲を広げている。</p> <p>現在でも子育て日本一を目指しているが、子育て支援ではなく子ども支援に変えていこうと施策を切り替えていくという方向性を持っている。総合計画でも「子ども支援」という記述にしている。今後は、子どもの立場に立ったことを考えていかないといけない。</p>
委員	子育て支援はしないのか。
事務局	子育て支援もする。
委員	<p>働いている方も多いが、延長保育を全ての保育園でやっているわけではない。第一子と第二子で保育園が分かれてしまうこともある。子どもが急に熱を出した場合など見てもらう必要があるが、病児後保育も1か所のみである。母親の支援も必要であるので、子育て支援にも力を入れて頂きたい。</p>
事務局	<p>病後児保育について、東浦は先進的に取り組んでいる。子育て支援も拡充している。子どものために預けるということだが、預けることが子どものためになっているのかには疑問が残る。</p> <p>お母さんが働けない人、全体像をどう見込むのか考えながら育児休業制度を使ってお母さんが育てましょう、ということに取り組んでいる。これらを進めると保育施設が要らなくなるが、所得を上げましょうということだと、ギャップが生まれる。全体では東浦は網羅できているので、預けやすい環境など環境づくりを進めていきたい。</p>
委員	<p>子どもは年少までは親が育てるのが良い。そうすることで子どもが安定する。働かざるを得ない人についても、移行できるのではないかと。違った方向の幼児の行き所があるのではないかと思う。</p>
部会長	<p>財源が限られている中で、どう有効に使っていくのかが重要である。どこに重心を持っていくのかを考えていくことが必要である。</p>
委員	<p>子どもが幼稚園以来、東浦にお世話になったが、子どもに将来的に東浦に戻ってくるかと聞くと、「東浦に貢献したい、東京の大学に行きたいが、力になりたい」とのことだった。人材はいるので、地域で若い人を育てることが必要である。</p> <p>地域の活動で、ヨコの繋がりができると良いと思う。例えば、ボランティアの人を集める際にも年代区分別に人数を出してもらえると、役割ができ、その世代のリーダーが出来るのではないかと思う。こうした取組みで、子どもが外に出ても帰ってこられるような繋がりがあると、活躍できるのではないかと思う。</p>

委員	<p>学校教育についての記述は抽象的になっているが、皆さんの目から見て、抜け落ちがなくあがっているのか確認いただきたい。皆さんが思う課題が、P28 にあがっているか。また、P25 に子育てから子育てに関する項目があり、成果指標をつけているが、子ども支援の施策が進んでいるか。指標としてこれでいいのか、他に良い指標がないか考えて頂きたい。</p>
部会長	<p>災害時のポンプの排水雨量はどうなっているか。量が増えてきているので、見直しをする必要があるのではないかと。また、新たに想定される水位によってはポンプを上にはあげないと、水が入って使えなくなる危険があると思う。</p>
委員	<p>愛知県の子育て支援の会議に出させて頂いているが、県では子どもの支援は0 から 18 歳を対象としており、高校生の居場所づくりなどが議題になっている。</p> <p>基本計画を見ると、0 歳から未就学が中心になっているが、中高生の居場所作りについては抜けているのではないかと思う。</p>
委員	<p>取組2に「地域の方との交流や地域福祉の担い手となる老人クラブ活動を支援します。」となっているが、サロンを使って老人クラブが活動している。また、P12 頁で老人憩いの家の利用者延べ人数が成果指標となっているが、老人クラブに入っていないと老人憩いの家を使えないという風潮がある。老人クラブでは会費を払っているというのが根底にあるというのを認識して欲しい。</p>
委員	<p>高齢者というと、シルバー人材センターや老人クラブの存在感が大きい。団塊の世代の中で、これらの組織に所属しない人をどうやって憩いの家で遊べるようにしていくのかを考えないと、増加は難しいと思う。今の老人は今のままでいいが、これから老人になる人が入れるようになるものを作っていないといけない。</p>
部会長	<p>難しい面があるように思う。</p>
委員	<p>老人クラブは新規層を取込む努力をしていない。会員を増やすための動きをする必要がある。</p>
委員	<p>老人クラブというネーミングが良くないのではないかと。他ではネーミングを変えているところもある。</p>
委員	<p>老人クラブの名称は国や県でも使っている。</p>
委員	<p>P12 の高齢者福祉の項目に、ふれあいサロンについての記述がある。「ふれあいサロン」という名前に惹かれて子育て中の母親等も居場所を求めて見に行ったが、実態は高齢者向けで来てはいけないのかと思いきや子育て中の母親が参加しなくなったことがあった。名前と利用実態</p>

	<p>とのギャップがある。</p> <p>お祭りにおじいちゃんに連れられて来てもらえるなど、子どもとおじいちゃんおばあちゃんの触れあいなどでも使えると思う。</p>
部会長	東京では簡単に入れる場所だが、東浦ではそうなのではないのか。
事務局	子どもは児童館、高齢者は憩いの家となっている。
部会長	ネーミングを考えていく必要がある。
事務局	人口が減るなかで統廃合を含め、様々な世代が使える施設に変えていくなども検討する必要がある。
委員	老人クラブの会員だが、空いているときは誰でも使ったらいいと思うが、それを良しとしない方もいる。交流館などは良いと思うが、高齢者が児童館、コミュニティセンター、老人憩いの家の3箇所使っているところがある。一方で児童館の廻りの草取りをやったりしている。また、老人憩いの家は町が所有している。
事務局	建設時に補助金を使っているものは、補助金の関係で利用についての縛りがある場合がある。
委員	老人クラブは、老人憩いの家の管理をしているから自分たちのものだという認識がある。
委員	鍵当番を有償化して、お母さんなども使えるようにすれば良いのではないか。子育て支援センターでも高齢者がいて世代間交流をしているが、老人憩いの家は自分たちのものだという意識がある。
事務局	町の施設なので、老人しか使っていけないとうことはないが、老人クラブの管理となっており、自分達の使いたい時間に使えるようになっている面がある。ただし、目的があるもの以外は空いている時間は使えるようにしていくべきである。緒川ではサロンをやっている高齢者も、地域に貢献しながら理解してもらおうということをしているシルバーもあると思う。お年寄りがお年寄りをみる時代であり、元気なお年寄りを使う取組みをしていくべきである。知多半島でやっている活動もあるので、地域福祉を充実していくことが課題だと思う。
委員	計画からは読み取れないので、用語解説のなかで、老人憩いの家を入れ、将来多世代が使える施設にすると入れて頂けると良いと思う。
委員	P30の食育についてお聞きしたい。生産者との繋がりや、実際に料理をするなど特色のある取組みとして実施しているもの、実施しようとしているところがあればお聞きしたい。また、地場で使われている食材はどのようなものか。
事務局	料理人を入れるなどはしていない。衛生上、体をつくる上での食の大切さについて取り組んでいる程度である。地産地消となっている

	が、東浦だけでなく、愛知県を地産というカテゴリーに入れやっている。
委員	加工しているもの意識なく食べると、愛知県のものですよと書いても、子ども達が体験的、感覚的に繋がっていかない。生産者の方にお話し頂いたりするなど、体験的に繋がるようなものを入れて頂けたらと思う。
委員	PTA の母代研修会で、知多市の給食センターに見学を行ったが、栄養教諭の先生が、各学校を廻って、給食の時間に指導している。
事務局	東浦町でも、栄養教諭が栄養指導を行っている。現物を見せながら産地を伝えている。
委員	安全安心が流行っていると思うが、作るのに手間かかるということで、実際に切る過程までやっていかないと伝わらないのではないかな。出来合いのもので安全安心をやっても、ぶどうジュースを作るでもいいので作る機会を入れると良いのではないかな。
事務局	地域の方に来て頂いているところでは良いが、教員が全てやるのは難しい。支える地域の人がいればできることもあると思う。
委員	基本計画の中で、施設や設備の老朽化について多くの施策で共通して出てきているが、机上の空論で終わらず具体的な方向性を打ち出してほしい。
事務局	P114 で、「公共施設マネジメント」を新たに施策の1つとして入れており、総合的なインフラのマネジメントを打ち出している。この中で世代を超えた議論、統廃合を含めた議論、各施策のなかでも課題を持っていく必要があるということで各施策についても入れている。 他の市町でも使えるようなものになっている、抽象的な表現が多いということであるが、どこまで細かく入れるべきかという問題があるが、包括的に入れたいという思いがある。
委員	固有名詞を入れるということではなく、課題の部分で皆さんの思いと齟齬がある場合には変えていかないといけない。
委員	お金が限られているなかで、何をやっていくのか、評価をする上でも優先順位をする上でも入れていけたらと思う。
事務局	施設については長寿命化で長く利用しようということ考えており、平準化や前倒しということもある。利用形態、周りの施設の状況、地域全体のバランスを見ながら進めていく。 個別の計画がいくつかあるなかで、総合計画は施策の方向性を定めるために作っている。優先順位については、下位の計画で示したい。
部会長	学校のなかに公民館を入れたりする複合化などで順番を変わって

	くることもあるので難しいのではないか。
委員	<p>複合化は重要な視点であり、積極的に複合機能化を進められたらと思う。</p> <p>中高生の居場所については、確かに抜けているところあるのではと思う。</p> <p>多文化の共生が出てこないが、東浦の特性なのではと思っていた。実際にはやっていることがあるのではないかと思う。目次を見ていただいたところで抜けがないかチェック頂けたら。</p>
事務局	多文化共生については、P106 の共生のところに記載している。
事務局	これは言っておきたいということがあれば、13 日頃までに頂ければと思う。各部長などに回すことを考えると時間がかかるので、出し方はどういう形でも良い。取入れるかは分からないが、第一部会の部分でも意見があれば言って頂けたらと思う。

閉会

事務局	(閉会)
-----	------